

基本方針に関する各所属団体からの意見

複合機能及び建設候補地について、第7回の市民委員会においてお示ししたメリット・デメリット以外に、委員の皆さんからいただいた意見、及び各所属団体等からいただいた意見をまとめましたので報告します。

なお、複合機能や候補地の選定については、これらの視点や意見を参考に、今後、市議会特別委員会との協議を行った後に整理し、次回の市民委員会で検討の方向性をお示しします。

1. 複合機能についての意見

<複合機能を選定するための視点（子育て支援機能）>

【具体的機能について】

- ① 子育て機能として、子ども未来館（大田原市）を参考とした室内遊具施設で、規模は「子ども広場」ぐらいがいい（子育て世代からの希望）。
- ② 子育て機能として、雨の日に子どもを遊ばせることができる場所にして欲しい。
- ③ 屋内で子どもが無料または低料金で遊べる場所がない。
- ④ 子どもが遊べるだけでなく、「ここに行けば子育てに関する情報が全部わかる」というような情報発信の場ともしたい。
- ⑤ 育児相談や講習会等が行える施設は、健康課や子育て支援センターなど既存施設があるので不要である。
- ⑥ 子育て支援機能については、基本的に市民向けの機能であるため、市民の交流をどう図っていくかを検討する必要がある。また、市外の方も利用する施設とする場合も、交流という観点から検討が必要である。
- ⑦ キッズスペースは、複合施設がどちらになった場合でも、授乳室やおむつ替えスペースと同じような観点でホールの付帯施設として設けた方が良い。

【子育て施策について】

- ① 子育てに優しいまちというイメージをつけたい。
- ② 少し前までは子ども医療費無料など他の自治体より制度が充実していたが、他の自治体も同レベルの施策を展開しており、日光市に特出した魅力がないため、子育て世代の流出抑止につなげたい。
- ③ 日光市には3ヶ所の子育て支援センターがあり、うち1ヶ所は今市にある。今市にある現センターと統合した方が効率的であり、且つ経費が削減になると思う。

※原文のまま掲載



〈まとめ〉

【具体的機能について】

- ・子育て支援機能としては、雨の日でも遊べるように遊具が設置してある屋内型の施設（施設の規模は中規模程度を想定）とし、既存の子育て支援施設との関連性を踏まえたうえで、その必要性や効果について検討したい。
- ・キッズスペースは、子育て支援機能としてではなく、文化会館の付帯機能として設置したい。

【子育て施策について】

- ・市の子育て施策との整合性に留意して検討したい。

〈複合機能を選定するための視点（世界遺産ガイダンス機能）〉

【具体的機能について】

- ① 市内の小学生が校外学習の場として使用できる施設とした方が良い。
- ② ガイダンス機能として映像機器を備える場合は、機材の維持費がかかることを念頭に入れて検討してほしい。また、文化会館整備についても、大型の機材を設置する場合は、メンテナンスが容易に行える検討が必要である。
- ③ 修学旅行生を呼び込むとなれば、広いスペースが必要となり駐車場の確保が懸念される。施設の規模と敷地面積を十分に考慮した検討が必要である。
- ④ 世界遺産は山内地区にある建造群103棟であることを観光客に理解してもらうことが大事。展示の仕方など工夫を検討願いたい。

【世界遺産活用施策について】

- ① 他市のガイダンスセンターでは、利用者数が少ないとの話を聞くので、他のガイダンス施設の利用状況を調査した上で検討する方が良い。
- ② 世界遺産ガイダンス機能については、「何を選び、そこにどのくらいのお金がかかり、どういった効果があるのか」など、費用対効果の観点から検討が必要である。

※原文のまま掲載



〈まとめ〉

【具体的機能について】

- ・世界遺産ガイダンス機能としては、具体的な施設規模、展示内容、展示方法について、他自治体の事例や専門家の意見も踏まえ検討したい。

【世界遺産活用施策について】

- ・費用対効果やランニングコストを考慮したうえで検討したい。

<複合機能を決めるための視点（その他）>

【複合機能に求める役割について】

- ① 国際観光都市として100年先を見すえた視点が必要。
- ② 「生涯学習の～」の延長上に
- ③ “一度切りの” “一過性の” 日光観光からの脱皮。
- ④ 観光の深化、新しい観光(ニューツーリズムnew tourism)の創造

【付属施設について】

- ① 会館内または付属施設に食事できるような小さなレストランがあれば便利である。
- ② カフェスペース（希望多数）
- ③ ギャラリー棟の併設（希望多数）

【その他】

- ① 子どもが遊べる場所はある方が良いと思うが、子育て機能は文化会館には不要だと思う。イベント等開催時に駐車場スペース(台数)を考えると、世界遺産ガイドンス機能も不要だと思う。世界遺産ガイドンス機能は、世界遺産センターを旧日光総会館跡地か七里地内に造るべきだと思う。複合機能の定義が難しいが、中央公民館にある会議室や中ホール等の機能を複合させた方が良いと思う。
- ② 新文化会館の規模は800席程度としたため、音楽ホールとして必要な機材やリハーサル室、練習室など必要な機能を全て備えた施設とし、ホールを主とした予算確保をお願いしたい。
- ③ 建設候補地に文化会館と駐車場等を整備することを踏まえ、複合施設は、残りの敷地面積に見合った使い方の検討をするべきだと思う。小さなガイドンス施設等ができて魅力がない。
- ④ 複合機能を求めるよりも、今の文化会館内のホール以外の施設（楽屋等）の不便さを考えると、ホールを利用するために必要な施設の充実を考えて欲しい。文化会館に全く別の複合機能（施設）は必要性を感じない。
- ⑤ まずは文化会館として十分な機能を決めて、十分な駐車スペースを確保した上で、「敷地面積に余裕がある」となった場合に複合施設という考えにして欲しい。
- ⑥ MICE(Meeting, Incentive tour, Convention, ExhibitionまたはEvent)のメイン会場として利用できる。

※MICEとは、会議、研修、セミナー等が行える場所であり、政府、国際機関、学術団体、企業等が開催する大規模な会議や大小さまざまな展示会、博覧会、イベントなどが開催できる場所。

※原文のまま掲載



〈まとめ〉

【複合機能に求める役割について】

- ・複合機能のイメージとして、教育、観光など他分野との調和も図る方向で検討してまいります。

【付属施設について】

- ・文化会館そのものに対する要望であることから、施設内容の検討のなかで整理してまいります。

【その他】

- ・文化会館そのものに関する意見であることから、まちづくり、地域の活性化、市民交流、文化振興等に繋がる施設となるように市民委員会の意見を反映しながら建設地の選定と合わせて判断していきます。

2. 建設地についての意見

〈メリット・デメリット〉

〈平ヶ崎地区〉

(メリット)

- ① 平ヶ崎地内は、アクセスルートが多い。
- ② 平ヶ崎地内は、用地買収の費用がかからない。
- ③ 平ヶ崎地内に、現会館を使用しつつ、新会館の建設。
- ④ インターに近いとアクセスが良い。
- ⑤ まちなかの利点を生かしたイベントができる。
- ⑥ 今市文化会館解体後跡地に建設する場合は、解体中に文化活動が停止してしまうので、七里地内に小さなホール機能を兼ねた会議室を建設し、跡地に新文化会館を建設すれば、七里に建設した施設が、旧日光総合会館の代替施設となるのではないかと。

(デメリット)

- ① 現今市文化会館を解体してからの建設ではホールが使用できない期間が長い。

〈七里地区〉

(メリット)

- ① 日光から今市を繋ぐ道路（市道大谷川右岸線及び市道瀬川森友線）が整備されたことから、七里地区は、まちづくりの核となる場所となった。また、近隣に大谷川公園があることから健康と文化を融合させたまちづくりも可能となる。このことから、七里地区に文化会館を造ることは大きなメリットとなるのではないかと。

- ② 七里地区に新文化会館が建設されれば、旧日光総合会館跡地に新しい施設を建設しなくてもよい可能性がある。
- ③ 七里は自然を生かした設計ができそう。
- ④ だいや川公園も活用しながらのイベントができる。
- ⑤ 雄大な日光連山の眺望、豊かな水と緑に抱かれた地。
- ⑥ 新日光市の“主軸・幹線道路”の充実化

(デメリット)

- ① 大谷川河川敷を臨時的に駐車場として利用することを想定しているが、大雨が降ると危険が増し、さらに建設予定地と距離があるため、移動が困難となる。駐車場としての活用は避けるべきではないか。
- ② 七里地内は、アクセスルートが少なく、道路渋滞時が問題。
- ③ 七里地内は、私有地の用地買収にかかる費用がどのくらいになるのか。
- ④ 緑豊かな魅力はあるが、混雑時の懸念がある。子供施設を希望。
- ⑤ 七里は平ヶ崎に比べて交通アクセスが不便。
- ⑥ 私の周りの人達は、圧倒的に平ヶ崎地内にできるものだと考えています。
- ⑦ 七里地内はデメリットが多すぎます。敷地面積の市有地が少なく、大半を私有地買収に頼らなければならず、文化会館が来るとなると、土地の単価が5倍10倍と跳ね上がります。また、様子見で売らない人が出てきます。ごね得です。これまで道路ができる、施設ができる、道路幅の拡張で立ち退きにあった例などを見れば、行政も苦しめられてきたはずです。また駐車場を河川敷に造るなどと、とんでもない話です。
- ⑧ 旧日光市に住んでいる人たちは、子供のころから雨の日は河川敷に近づくなと親たちから言われて来ました。建物の高さが15mまでというのも大きな障害です。
- ⑨ 建設費もかなり高くなり、日光市は、10年後には赤字財政になるといわれているときに、財政負担の大きなところに建てるべきではありません。
- ⑩ 観光客の文化会館ではありません。市民のための文化会館です。
- ⑪ 建築物の高さ規制15m(七里)の縛りが外れたらではなく、外れて両地が同条件に近い状況にならないと判断が難しい。まだ何も決まっていないように感じる。(条件上)。
- ⑫ 水害等の危険性は大丈夫か。(七里)

<その他>

- ① どちらの建設地においても公共交通機関での移動が不便
- ② 地元の利用者にとって、インターチェンジの近くにある事は特にメリットではない。

※原文のまま掲載



<まとめ>

これらのご意見は、前回の市民委員会でお示したメリット・デメリットに加えて候補地選定の参考といたします。

<建設地を選定する視点>

- ① 豊かな自然環境の中で、SDGs を伴った設備を導入する。
- ② アクセスが重要、公共交通機関(鉄道の駅で徒歩圏内が必須のため、新設が可能なエリアを要望)が整備され、駐車場が広くとれる場所。
- ③ 駐車場を含めた敷地面積
- ④ 建物の高さ
- ⑤ 建設コスト (建設費)
- ⑥ 市民の利用頻度
- ⑦ 十分な駐車場
- ⑧ 工期の面は、平ヶ崎の文化会館の解体と同時に駐車場に文化会館を建てれば、新しいところに建てるのと、ほぼ同等の工期が組めます。
- ⑨ 主要道路が渋滞しても違うルートでたどり着けるアクセスの良さが重要。
- ⑩ 施設の利用度合いが高い事が大事。
- ⑪ 駐車場の確保 (アンケートの結果1番多い)
- ⑫ 文化会館使用時の車のスムーズな流れ
- ⑬ 秋の混雑時期を想定
- ⑭ 住民が日常的に利用しやすい場所か。

※原文のまま掲載



<まとめ>

いただいたご意見では、利便性や財政面に関する内容が多かったことから、候補地ごとのメリット・デメリットを整理したうえで、まちづくり、地域の発展性、財政面等を考慮し、複合機能の選定と合わせて判断していきます。